



平成 17 年 11 月 17 日

各 位

奈良県磯城郡川西町大字吐田 150 番地 3
G M B 株 式 会 社
代表取締役社長 松岡信夫
(コード番号：7214 大証第二部)
問合せ先 執行役員経営管理室長 阪口有一
(TEL 0745-44-1911)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 20 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 18 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)
(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	36,800	2,700	1,200
今回修正予想 (B)	37,000	2,400	980
増減額 (B-A)	200	△300	△220
増減率 (%)	0.5	△11.1	△18.3
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	35,188	2,428	987

2. 18 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)
(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	16,800	1,250	750
今回修正予想 (B)	15,000	950	560
増減額 (B-A)	△1,800	△300	△190
増減率 (%)	△10.7	△24.0	△25.3
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	16,251	1,331	790

3. 修正の理由

個別業績につきましては、海外の補修用部品市場において、原油価格高騰を背景とした東南アジア地域の景気停滞や、中国製品などの競合先との価格競争等、厳しい状況が続くものと予想され、売上高・利益とも当初予想を下回る見通しであります。

連結業績につきましては、韓国子会社の業績が順調に推移していることと、海外子会社の現地通貨を換算する為替相場が、当初予想時より円安に推移していることなどにより、売上高は個別決算の売上高の減少をカバーし、若干増加する見通しであります。経常利益・当期純利益につきましては、個別業績の見通しが影響し、通期ではほぼ前期並みの水準となる見通しであります。

なお、平成18年3月期の配当金につきましては、当初予想どおり、1株当たり期末15円の年間30円を予定しております。

以 上

※ 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。